

消 防 団 の 現 況 と 課 題

1 消防団・消防団員の現況（平成 15 年 4 月 1 日現在）

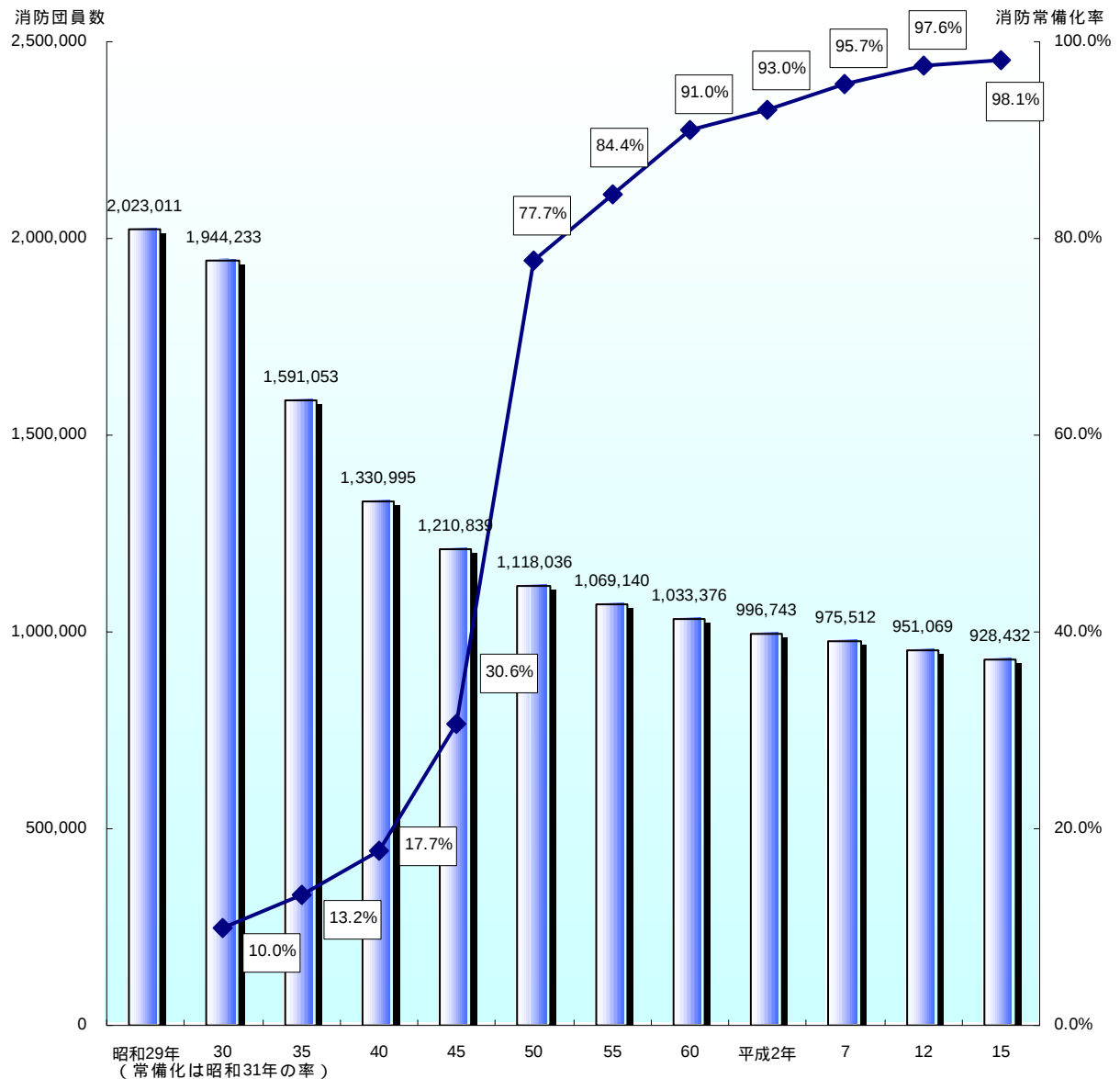
消 防 団 の 数： 3,598 団 全国ほとんどすべての市町村に設置

消 防 分 団 の 数： 25,064 分団

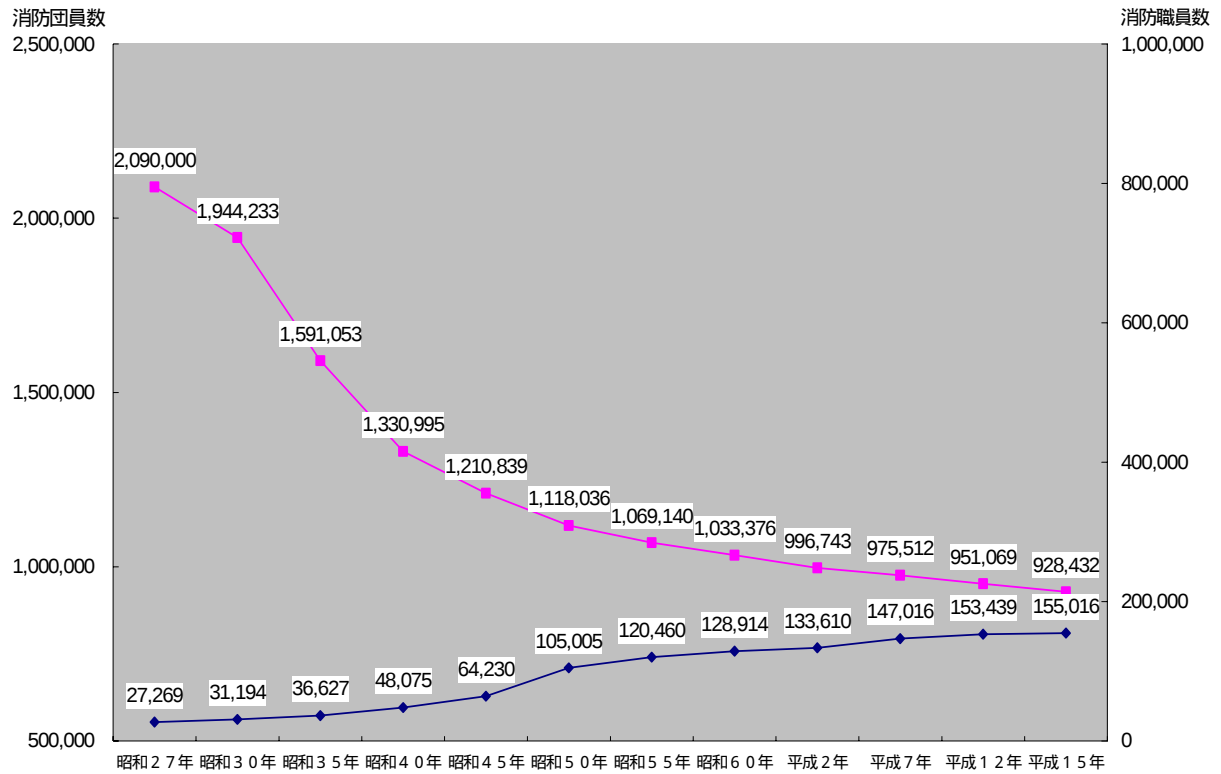
非常勤消防団員数：928,432 人

消防団員の年齢構成：30 歳未満の団員が 24.2%を占める一方、40 歳以上の団員が 37.2%を占め、また、平均年齢は 37.2 歳である。

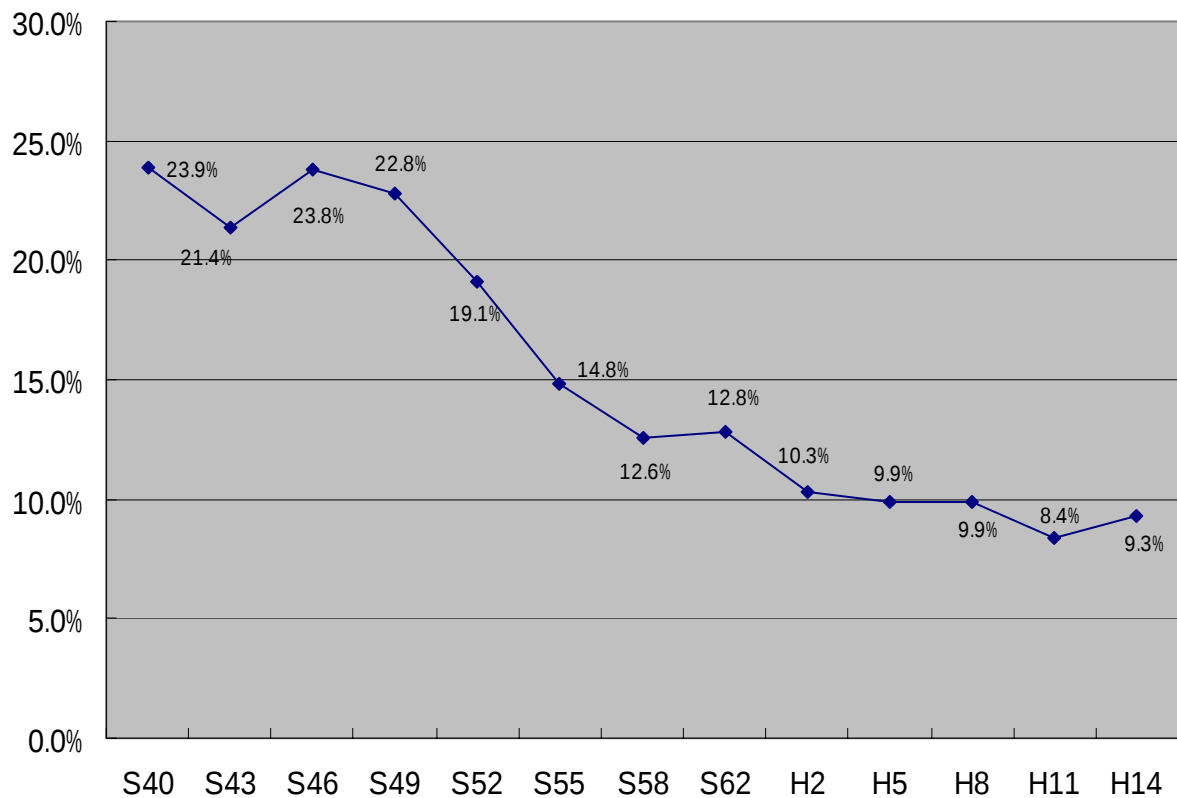
消防団員数と消防常備比率の推移



消防職団員数の推移

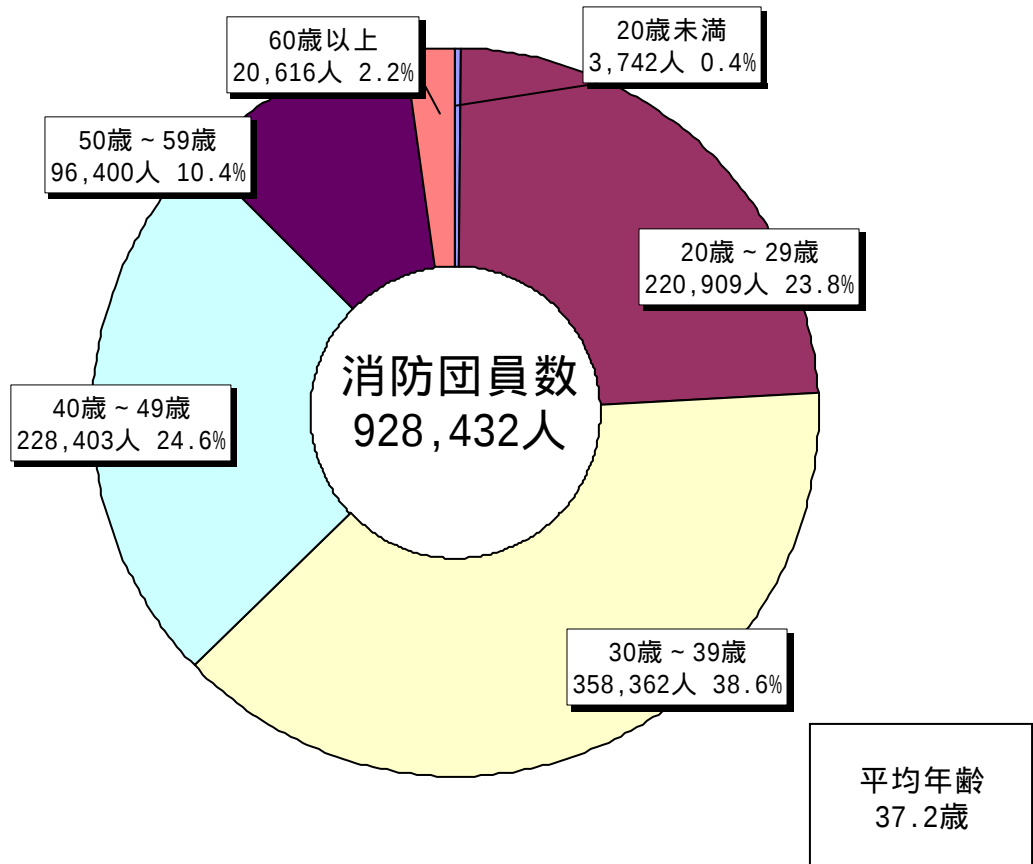


消防団の火災出動比率の推移（各年中）



消防団員の年齢構成

(平成15年4月1日現在)



○ 消防団員の平均年齢の推移

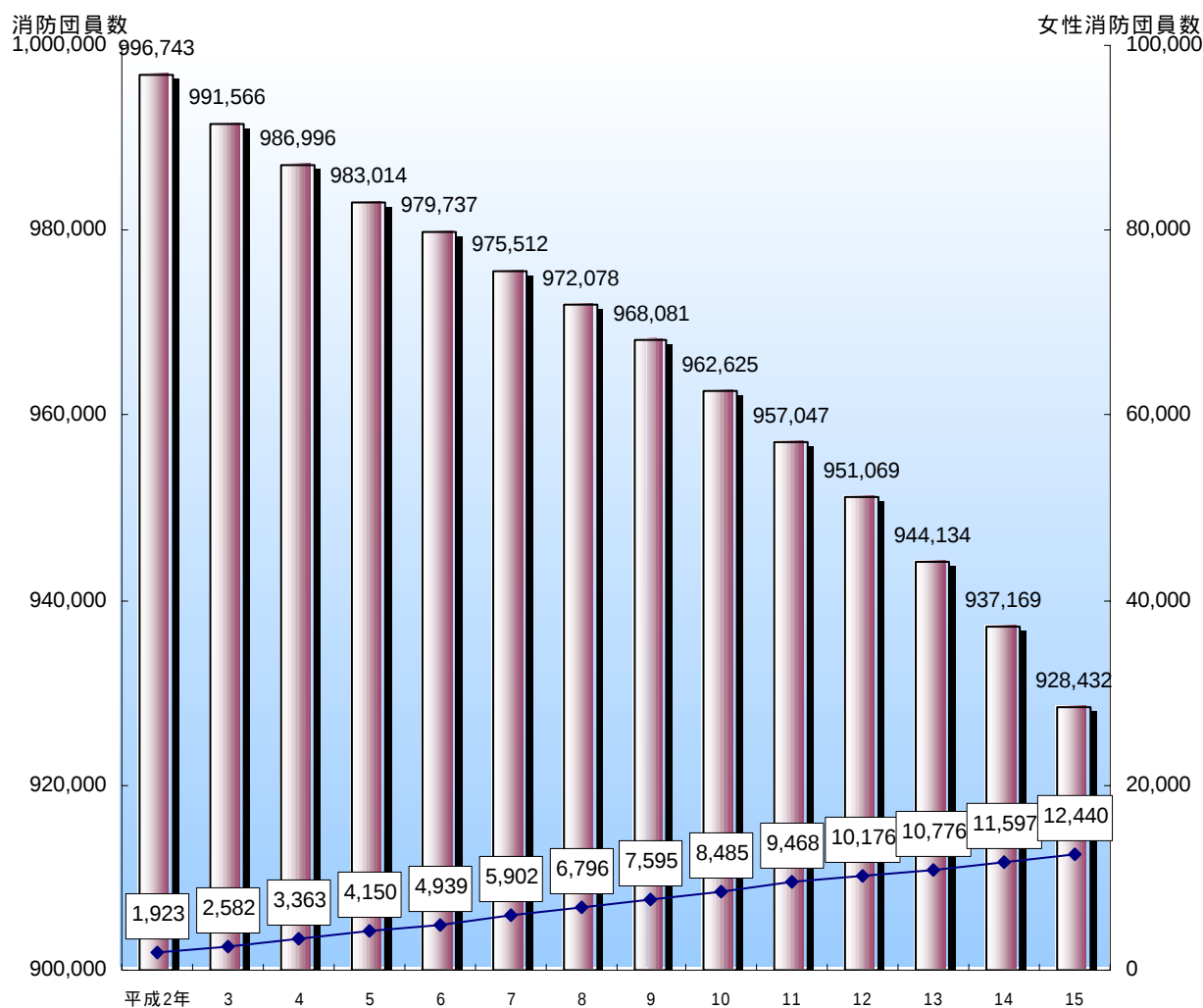
年		平成 3 年	平成 7 年	平成 1 2 年	増加状況
市町村の区分		(歳)	(歳)	(歳)	(歳)
消防が非常備の町村		36.0	37.0	37.9	1.9
消防が常備の市町村	1 万人未満	34.7	35.4	36.2	1.5
	1 万人以上 2 万人未満	34.1	34.6	35.3	1.2
	2 万人以上 10 万人未満	34.7	35.2	36.0	1.3
	10 万人以上 100 万人未満	36.6	37.0	37.8	1.2
	政令指定都市	43.4	44.4	45.4	2.0
平 均		35.4	35.9	36.7	1.3

(注) 1. 市町村の区分については、平成 1 2 年を基準としており、平成 3 年及び 7 年については、平成 1 2 年における市町村の区分により団員数を算出している(以下同じ)。

2. 政令指定都市には、東京都特別区を含む(")。

2 女性消防団員の現況

消防団員数と女性消防団員数の推移

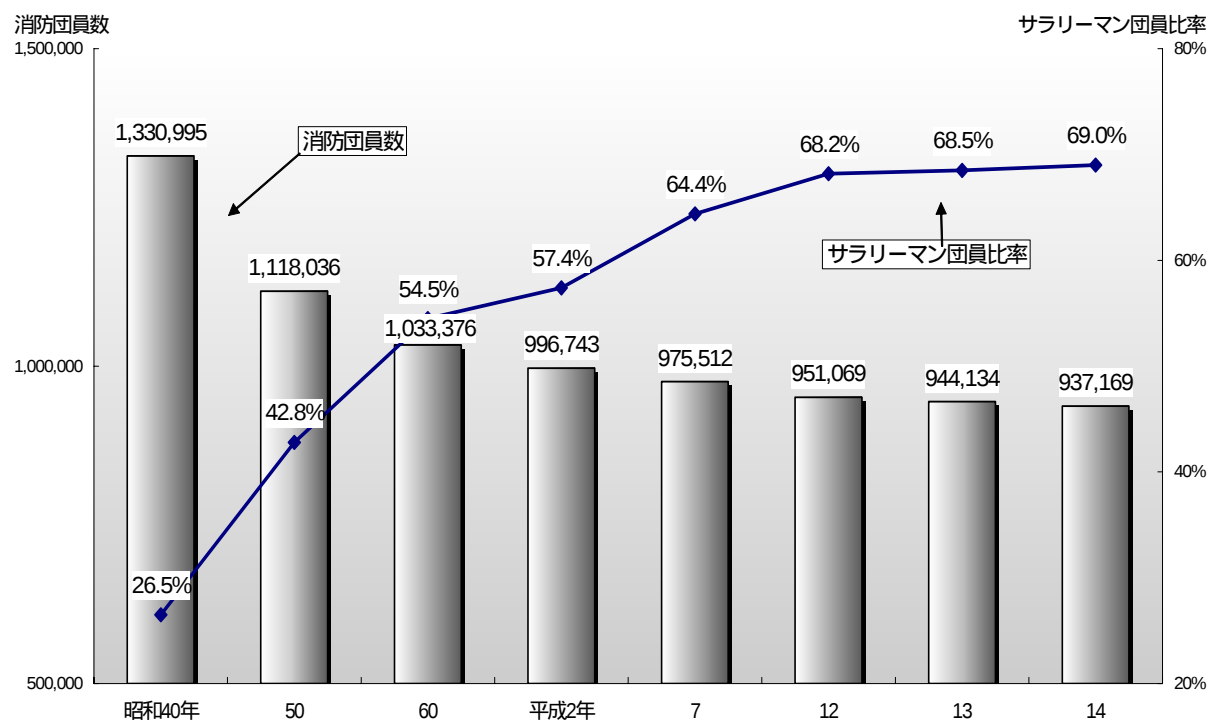


○ 消防団員に占める女性消防団員の比率の推移

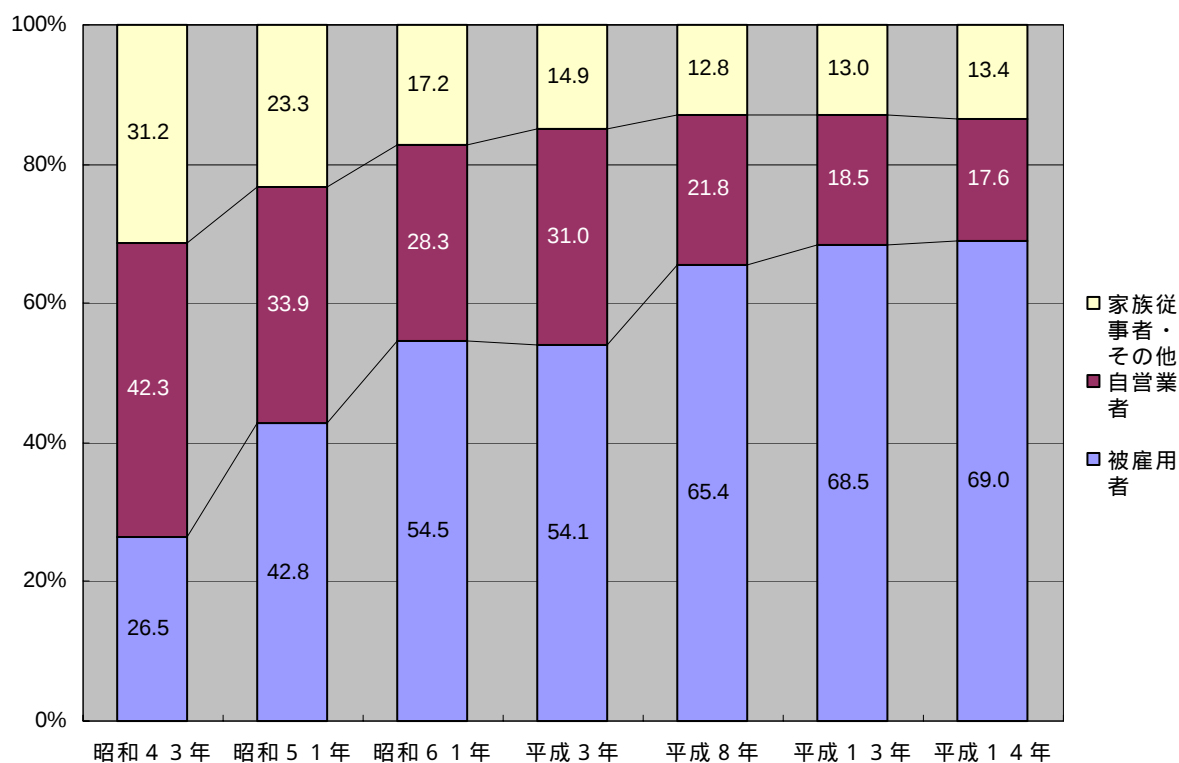
年		平成 3 年	平成 7 年	平成 1 2 年	増加状況
市町村の区分		(%)	(%)	(%)	(%)
消防が非常備の町村		0.19	1.00	1.96	1.77
消防が常備の市町村	1 万人未満	0.22	0.37	0.52	0.30
	1 万人以上 2 万人未満	0.13	0.29	0.52	0.39
	2 万人以上 10 万人未満	0.14	0.51	0.97	0.83
	10 万人以上 100 万人未満	0.25	0.75	1.12	0.87
政令指定都市		1.80	3.08	6.04	4.24
合 計		0.26	0.61	1.07	0.81

3 消防団員の就業構造の変化 = 消防団員のサラリーマン化

消防団員数とサラリーマン団員比率の推移



消防団員の就業構造の推移



平成16年度予算内示状況（消防団関係など）

1 消防団総合整備事業（消防補助金） 20億円（ 16億円）

（1）目的

- ・ 今後想定される大規模災害や国民保護法制に対処するため、ポンプ自動車、災害防ぎょ用資機材等を中心に強化する必要
- ・ 施設と設備（資機材）に区分している現在の2つの補助事業について、
「消防団総合整備事業」として、統合し、より使いやすいものとする。

（2）対象施設等の主な内容

消防防災用車両 〔消防ポンプ自動車、小型動力ポンプ付積載車 等〕

災害防ぎょ用資機材等 〔災害防ぎょ用資機材、救助用資機材、無線機器 等〕

消防団拠点施設 〔消防車両及び資機材等が収容できる詰所〕

体力錬成施設 〔各種トレーニング機器が配置できる施設〕

（3）補 助 率 1 / 2 に引上げ（ 1 / 3 ）

2 消防団による地域活動の推進（事務費） 15百万円（ 8百万円）

若手・中堅消防団員及び女性消防団員意見発表会の開催・表彰

消防団活動支援事業所の表彰

消防団メールマガジンの充実

3 消防団活動の充実強化に関する総合的な検討等（事務費） 4百万円（新規）

総消防団員数の確保〔総消防団員数100万人以上、うち女性団員数10万人以上〕
の目標に向けて、消防団活動の充実強化を図るための方策を検討

4 自主防災組織リーダーに対する教育についての調査研究（消防大学校）

12百万円（新規）

自主防災組織のリーダーに対して行う教育のあり方について調査検討